



日本共産党区議会議員

こんにちは  
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1  
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)  
日本共産党区議団 直通3880-5770

<http://www5.famille.ne.jp/~k-itou/index.html>



竹ノ塚東口にはこんなにコインパーキング等が(写真はカーナビ画面)特定業者だけ手厚くする必要はありません

# 「えっ! 特定事業者が4000万円も手に?!

## 竹ノ塚東口公共駐車場 管理運営問題を追及!



JOYビルの中にある竹ノ塚東口公共駐車場。ビル所有者は、シアター1010で税を投入しての乱脈経営で問題になった(株)コミュニティアーツの当時の社長(当時自民党足立総支部長)

結局税金投入して「区」の所有物「扱い」しながら、その管理をJOYビル側に単独指定し、三八〇〇万円(19年度)の駐車場収入のうち、95%以上をJOYビル側が手にしているのです。  
なぜ三八〇〇万円も駐車場収入がありながら、区の収入はわずか70万円しかないのか、調べてみて驚きました。多額の管理運営費をJOYビル側が先取りしていたのです

### 疑問3

「区の駐車場」扱いしながら  
駐車場収入の九五%以上がビル側に!

駐車場収入は約三八〇〇万円あるのに  
区に入るのはわずか七〇万円、あとはビル側に

事業者が「公共駐車場」の管理運営をゆだねるとして  
います。通常は指定管理者指定は、広く事業者を募る  
のですが、この「公共駐車場」については、この「JOY  
ビルの関連会社(親族会社)」に単独指定をするという  
異例の指定のやり方でした。その前提として民間ビルの  
駐車場を「区の駐車場」とするために、毎年113  
0万円もビル所有者に税を投入するというものです。  
おかしいのではないのでしょうか。

### 疑問2

ビル内の駐車場に  
毎年の税投入はおかしい!

### 疑問1

ビルの中にある駐車場  
つくるときも税を投じていた

今年の4月から、再度この

日本共産党は2月の代表質問(伊藤和彦)でも、総務委員会の補  
正予算審議でも「竹ノ塚東口公共駐車場」問題を追及しました。当  
初「一七六万円、駐車場収入が入る」と言っていました。70万  
円しか入らないという内容でした。その原因を調べると、「三重三重  
に「特定業者にいたれりつくせり」の姿がうき彫りになりました

### 駐車場収入3800万円の使い方 こんなカラクリが!

その1 駐車場収入からまずJOYビル側は、  
管理運営費として3220万円を手に入れる

(内訳)	人件費	2040万円!
	光熱水費	590万円
	清算機など	590万円
	計	3220万円

その2 残ったお金を区と7:3で分ける  
区の駐車場収入 70万円JOYビル側  
30万円

竹ノ塚駅西口公共駐  
車場(西友・保健所  
と併設、管理費は1  
820万円)と比べ  
ても格段に高い!

駐車場には人もいないのになぜ人件費!  
「ビル内管理室」に  
いるといいますが、  
個々のビル管理は個人  
がやるべき!

## 合わせて四〇〇〇万円以上 ビル所有者側に

駐車場はどこも民間が運営しています。竹ノ塚駅東  
口には沢山のコインパーキングがあるのに、何でここ  
だけ手厚い支援が必要なのでしょう?  
料金も高く、公共駐車場とはいえるものではありません。  
(近くのあるコインパーキングは20分30分で一  
〇〇円ですが、この駐車場は15分で一〇〇円)  
これでは特定業者との癒着と言われかねません!日  
本共産党は税のムダづかいにメスを入れがばりま  
す。



# 血清クレアチニン検査 実現



**看護師不足「区としても対策できる」とをやります**

**血清クレアチニン**  
以前は行われていた検査

慢性腎臓病は1300万人になると予想され「新国民病」といわれています。人工透析にいたる場合が多く、従来は生活習慣病予防健診で、腎機能把握する検査として「尿蛋白」「血清クレアチニン」が行われ、選択検査項目として「血清尿酸」も入っていました。

**「腎機能低下の把握ができない」と医師会が危機感**

ところが、二〇〇八年四月からの「特定健診」では「尿蛋白」のみの実施となつてしまい「腎機能低下の把握ができない」「早期発見が遅れる」と足立区医師会が危機感をもち、日本共産党区議団にたびたび要望が寄せられました。

私たちは重大な問題だと、医師会会館にも行つて詳しく話を聞き、日本共産党の質問全体で取り上げてきました。

9月25日日本会議代表質問  
9月30日予算要望で重点要望

10月2日からの総務委員会で質問  
12月4日日本会議代表質問

予算修正案の提出を通告する中で  
日本共産党はさらに、

2月の議会に、血清クレ

アチニンを特定健診の検査項目に入れて実施する内容の「予算修正案」の作成の準備を進め、予算化するための技術的な問題や財源などを調べて行政と連絡をとつていました。

## 劇的な実現

こうして予算修正案まで作成し提出する直前に、二月二十三日の本会議で、与議員に答弁する形で区は実施を表明。一瞬現場がどよめき歓声が上がると、劇的な実現となりました。

## 看護師不足対策も

### 「くりかえし取り上げ

日本共産党は、深刻になっている医師不足、看護師不足の問題もくりかえし取り上げてきましたが、二月の議会では、看護師不足対策を求める質問で子どもがいる看護師が働けるよう「短時間正職員制度導入促進事業」(都の制度)を区としても各医療機関に周知し促進する。

東京都ナースプラザ(看護師が登録し情報が交換できるセンター)と連携

を密にし、PRも行い看護師不足に対応する

(子どもを預けて看護師の仕事ができる院内保育所が足りなくて働きたくても働けない看護師がいる。都が院内保育所設置・運営の補助をしていくが少ないという質問に)補助を増やすよつ、区として都に要求する。



以上のような答弁があり一歩前進しました。

## 特別支援学級の増設

特別支援が必要な子どもが増えているもつで、特別支援学級の増設が求められており、一月の委員会でも請願も採択された。早急に増設するべきだがどうかと代表質問 三月の文教委員会に計画(スケジュール)を示すと答弁。

## 特別支援講師の拡大

通常学級に派遣して特別な支援が必要な子どもへの援助を行う「特別支援講師」の配置が、期間が短く、派遣が受けられる基準が厳しくて実態に合わない。改善すべきだと代表質問

子ども状況に応じて、派遣期間を延長するなど基準の緩和をする場合もあると答弁。

特別支援教育で一歩前進しました。

# UR花畑団地の再生計画について



写真は「花畑団地に住み続けたい」(92.7%、自治会会報)の声が寄せられている花畑団地

**「今後必要に応じ、居住者の意見・要望をURに伝えてまいります」**

私・伊藤和彦 大規模団地で多数の区民の代表質問で花畑団地の再生計画について、区画について取り上げる権限を生かし、住民要望を正確につかみURに伝え

役割を果たすこと。居住者からは白紙撤回を求める声があるほど計画と住民の願いの乖離が大きいこと。URの同室・同移動と言

う方針のため、エレベーターのない既存の団地で生活しつづけられるか。第2のふるさととして住環境を守ってほしいの住民要望にこたえるべきだと質問しました。区は「URの対応を注視しているところですが、今後必要に応じて、居住者の意見要望をURに伝えてまいります」と答弁しました。